

足立区議会議長 伊藤 のぶゆき 様

足立区議会議員 7 番 川村 みこと 印

一 般 質 問 通 告 書

今定例会に下記要旨の一般質問を行いたいのので、会議規則第 59 条第 2 項の規定により質問通告書を提出します。

記

行 政 区 分	質 問 の 要 旨
1 施設営繕行政	1 子育て・教育環境の更なる充実に向けて 区ではこれまで、子育て支援や教育環境の充実に向け、様々な取り組みを進めてきた。区の取り組みにより、子どもたちを取り巻く環境は着実に充実しており、評価する。一方で、子育て世帯の生活や価値観が多様化する中、保護者からは、更なる充実を求める声も寄せられている。子どもたちが安心して暮らすことができ、保護者がより安心して子育てできる足立区を目指し、これまでの取り組みを更に前に進める観点から、質問する。 (1) 本庁舎トイレへのベビーキープの設置について トイレ個室で子どもを座らせる「ベビーキープ」の区役所本庁舎における設置状況は、北館では地下 2 階を除く全ての個室に設置されているものの、中央館では女性用トイレが 2 か所、男性用トイレが 0 か所、バリアフリートイレが 3 か所、南館では女性用トイレが 2 か所、男性用トイレが 0 か所、バリアフリートイレが 5 か所となっており、非常に少ない状況だ。また、ベビーキープが設置されていないトイレについては、設置されている最寄りのトイレなどの案内もないのが現状である。男性の育児参加が進む中、女性用トイレには設置されている一方で、男性用トイレやバリアフリートイレには設置されていないフロアもあり、子連れで外出しやすい環境を整えるためにも、設置を進めることは急務だ。まずは利用者の多い南館・中央館の 1 階や、子育てに関係する部署が集まる中央館 3 階から設置を進め、将来的には全館への設置を目指してはどうか。区の見解を伺う。 (2) 東湊江小学校の施設更新について 東湊江小学校は新校舎を建設中であるが、世界情勢による資材
	9 月 8 日 午前・午後 8 時 30 分受付 質問時間 20 分

	7 番 川村 みこと
行 政 区 分	質 問 の 要 旨
2 地域のちから 推進行政	価格の高騰や供給への影響が心配されるが、現在の進捗状況について伺う。 (3) 児童館子育てサロンにおける、おむつ替えスペースと授乳スペースの整備について 児童館におむつ替えスペースと授乳スペースがないのは不便との声が届き、区に調査いただいたところ、全 52 館中、おむつ替えスペースが設置されていない児童館が 14 館、授乳スペースが設置されていない児童館が 29 館あった。児童館は、子どもや子育て中の保護者が集まる場所でありながら、授乳の時間が近づくと、授乳のために急いで帰宅しているという声もある。このような状況をなくし、子育て中の保護者が安心して児童館を利用できる環境を整えるためにも、児童館全館でおむつ替えスペースと授乳スペースを設置してはどうか。区の見解を伺う。 (4) 子どもたちの夏の遊びの機会の確保について 区には、2 か所に屋外プールがあり、夏季のみ開放されている。子どもたちにとって、夏に友達や家族とプールで遊ぶことは、楽しみの一つであり、夏休みの大切な思い出にもなる。一方で、近年の暑さにより、開設期間中であっても中止となる日が多く、子どもたちからは残念だとの声が聞かれる。開設期間について、今年度は総合スポーツセンターが 7 月 15 日から 8 月 31 日までの約 1 か月半、東綾瀬温水プールが 7 月 1 日から 9 月 15 日までの約 2 か月半となっている。近年の気候を踏まえると、子どもたちが屋外プールを利用できる機会を少しでも多く確保することが重要だと考える。まずは総合スポーツセンターの開設期間を東綾瀬温水プールと同様に約 2 か月半まで延長してはどうか。 また、今後は土日祝日だけでも 9 月末まで延長するなど、夏休みが終わった後も含め、子どもたちがプールで遊ぶ機会を確保できるよう、開設日を増やしていただきたいがどうか。子どもたちが楽しみにしている夏の遊びの機会を守るためにも、柔軟に開設期間を見直していただきたいと考えるが、区の見解を伺う。 (5) 図書館を活用した子ども向けのイベントについて 子どもが本を読むことは、語彙力や読解力を身につけるだけでなく、想像力や思考力を育み、さまざまな世界や価値観に触れる機会にもなる。だからこそ、子どもたちが本に触れるきっかけを

	7 番 川村 みこと
行 政 区 分	質 問 の 要 旨
	増やしていくことは重要である。一方で、普段から図書館を利用する子どもは限られており、図書館にあまり足を運ばない子どもたちにも、その魅力を知ってもらう工夫が必要である。全国各地の図書館では、夜の図書館を活用した肝試しや、館内を探検するイベントなど、子どもたちが図書館に行くきっかけとなるユニークな取り組みが行われている。こうした取り組みは、これまで図書館に来なかった子どもたちが図書館を身近に感じ、そこから本を手取るきっかけにもなると考える。 図書館をより多くの子どもたちにとって魅力的で身近な場所とするため、肝試しなど、子どもたちの関心を引く企画を積極的に取り入れ、図書館を活用したイベントをより充実させてはどうかと考えるが、区の見解を伺う。
3 衛生行政	(6) 小児インフルエンザワクチン予防接種費用助成について インフルエンザが例年より早い時期から流行している。区では小児インフルエンザワクチンの予防接種費用を助成しているが、現在は 10 月 1 日以降の接種が助成の対象となっている。こうした中、厚生労働省からは、自治体の判断により例年より早く接種を開始することが可能である旨が連絡された。これを受け、港区では助成対象開始日を前倒しすることが発表された。本区においても、来年度以降は感染状況に応じて柔軟に接種及び助成の開始日を調整できるよう、医師会や医療機関と調整を進めてはどうか。区の見解を伺う。
4 都市建設行政	(7) 子どもたちに親しまれているミニ列車について 北鹿浜公園、大谷田南公園にはミニ列車が設置されており、子どもたちに人気である。公園という性質上、スマートフォンや飲み物など、必要最低限の持ち物で来園する人も多いが、現在、ミニ列車のチケットは現金でしか購入することができない。そのため、現金を持ち合わせておらず、子どもに泣かれてしまったという声も聞く。子どもたちが楽しみにしているミニ列車をより利用しやすくするためにも、キャッシュレス対応を進めていただきたいと考えるが、区の見解を伺う。
5 学校運営行政	(8) 学校統合について 現在、区では 3 つの地域で学校統合を進めている。その中でも、竹の塚中学校と渕江中学校の統合においては、統合地域協議会が

	7 番 川村 みこと
行 政 区 分	質 問 の 要 旨
6 都市建設行政	組織されたところだ。統合地域協議会は、町会・自治会や PTA の代表者などから構成されているが、今後、当該学校に入学する予定の保護者などからも、広く意見を聞いてほしいとの声が届いている。統合地域協議会を中心に進めていくことは重要であるが、必要に応じて、今後入学する予定の保護者などからも広く意見を聞きながら、丁寧に進めていただきたいと考えるが、区の見解を伺う。 2 総合交通対策について 足立区ではこれまで、地域内交通導入サポート制度をはじめとした地域の移動手段を確保するための取り組みや、自転車利用環境の整備、交通安全対策など、区民の移動を支えるさまざまな施策を進めてきた。区民の生活において、通勤・通学や買い物、通院など、日々の移動を安心して行える環境を整えることは重要であり、これまでの取り組みによって、区民の移動を支える環境は着実に整備されてきている。一方で、社会環境や区民の生活スタイルが変化する中、より便利で使いやすい交通環境を目指し、更なる取り組みが求められている。区民がそれぞれの地域でより安心して、快適に移動できる足立区を目指し、これまでの取り組みを更に前に進める観点から、質問する。 (1) 地域内交通導入サポート制度について 現在、地域内交通導入サポート制度における運行経費の区支援額は、月 30 万円から 150 万円となっている。先日の総合交通対策調査特別委員会において、協議会運営支援費が創設され、年 60 万円を上限として支援されることが報告され、大変ありがたく思う。一方で、近年の物価高騰等も相まって、地域協議会からは「月 150 万円では足りない」とのが届いている。運行開始当初は運行日数が少ないため問題がなくても、運行が軌道に乗り、運行曜日の増加など、運行の拡充を検討する段階になると、現行の上限額では対応が難しくなることが想定される。地域の移動ニーズに応えるために運行日数を増やそうとするほど、支援が不足してしまうということがないよう、これまでの運行実績を踏まえた上限額の変更や運行日数に応じて支援額を設定する仕組みへの見直しをしてはどうかと考えるが、区の見解を伺う。

	7 番 川村 みこと
行 政 区 分	質 問 の 要 旨
	(2) 花畑ぐるりんについて ① 周知拡大について 花畑ぐるりんは、地域協議会による積極的な周知活動の成果もあり、認知が広がっていると認識している。一方で、まだ花畑ぐるりんを知らないという方も一定数おり、利用者を更に増やしていくためには、日常生活の中で自然と目に入るような周知も重要である。例えば、一目で花畑ぐるりんと分かるように車両をラッピングするなど、実際に地域を走っている車両そのものを広告塔として活用し、より多くの方に知ってもらえる仕組みに力を入れてはどうかと考えるが、区の見解を伺う。 ② 停留所環境の改善について 数回利用したものの、継続的には利用していない方からは、車両に乗り切れず、次の便まで長時間待つことになるのが大変だとの声が聞かれる。特に夏場は、厳しい暑さの中で待つことが負担になったとの声もあった。利用者が安心して花畑ぐるりんを利用できる環境を整えるため、停留所付近の歩道への遮熱塗装やベンチの設置など、待ち時間にも配慮した停留所環境の改善に取り組んではどうかと考えるが、区の見解を伺う。 ③ 無料お試し券の配布について 以前、期日前投票所において無料のお試し券を配布したが、期日前投票所には花畑エリア以外からも多くの方が訪れるため、花畑エリアの在住者に絞って配布することが難しかったと聞いている。無料お試し券は、これまで花畑ぐるりんを利用したことがない方に、実際に利用してもらうきっかけになると考える。配布場所や日時については、地域協議会とも協議した上で、より効果的な方法で再度無料お試し券を配布してはどうかと考えるが、区の見解を伺う。 (3) 北綾瀬駅周辺の駐輪場について 北綾瀬駅周辺の駐輪場は満車状態が続いており、これまでも議会で取り上げてきた。北綾瀬駅北側の駐輪場の新規開設及び南側駐輪場の増設について、現在の進捗状況はどうか。また、利用者の駐輪需要に早急に対応するためにも、早期の開設・増設を実現していただきたいと考えるが、区の見解を伺う。 (4) 子どもたちへの自転車ルールの周知について 区では小学3年生を対象に交通安全教室を実施しているが、子

	7 番 川村 みこと
行 政 区 分	質 問 の 要 旨
	ども乗せ自転車に小学1年生以上の子どもを乗せることができないことや、ストライダーの普及などにより、子どもが自転車に乗り始める年齢は低年齢化している。保護者からは、自転車に乗り始める時期に合わせて、早い段階から自転車のルールを学ぶ機会が欲しいとの声が届いている。北鹿浜公園では、西新井警察署が主体となり、幅広い年齢の子どもたちを対象とした自転車教室を開催している。 区でも、警察署と連携するなどし、より早い年齢から自転車のルールを学ぶことができる場を設けるなど、子どもたちが自転車に乗る際に必要なルールや安全な乗り方を身につけ、安全・安心に利用できる環境の整備を全区的に進めてはどうか。区の見解を伺う。